

令和7年(1月～12月)事業用貨物自動車の交通事故発生状況

① 死傷

No	路線名	概要	推定原因
1	県道	<p>交差点を右折するため右折レーンに進入し青信号を確認後、対向車線(片側2車線)の中央分離帯側に直進してくるバイクを確認するも安全な距離と判断しそのまま右折。歩道側車線を横切る際、対向車バイクが助手席側側面の燃料タンク付近に衝突した。</p> <p>バイク運転者は搬送先の病院で死亡が確認された。</p>	バイクとの距離と速度を誤って認識し、そのまま右折。
2	その他	<p>片側2車線道路を走行中、左側を走行していた自転車に追突した。その際、当該運転者は自転車運転者を救護することなく現場を立ち去った。この事故により自転車運転者は肋骨を骨折した。</p>	前方不注意。

② 衝突

No	路線名	概要	推定原因
1	県道	<p>県道395号線において、前方から対向してきた乗用車が突然、中央線を越えて当該車両の右側面に衝突した。</p>	対向車がセンターラインを越えて当該車両に向かって走行してきたため。
2	国道	<p>国道4号線を走行中、交差点に差しかけた際に、県道44号線側から赤信号で進入してきた乗用車と交差点内で衝突し、路外離脱の事故が発生。</p>	相手方が赤信号で交差点に進入
3	国道	<p>国道7号線を走行中、左カーブで対向車線にはみだし、直ちに自車走行車線に戻るも対向車線の大型トラックは右に避け、正面衝突となった。</p>	帰社途中漫然運転に陥ってしまったと推測される。
4	国道	<p>国道7号線を走行中、対向車が反対車線に侵入してきたため避けようと右にハンドルを切ったところ、相手方も元の車線に戻ろうとし正面衝突となった。</p>	相手方車両が反対車線に進入してきた為
5	国道	<p>スマホナビにて国道101号線を走行中、右折場所を確認するため、助手席に置いたスマホに目を逸らした後、対向車両を十分に確認せず右折した為、相手方車両と衝突した。</p>	前方不注意
6	県道	<p>土場と現場を往復する途中、一時停止せずに軽自動車が飛び出し、側面衝突を避けようとしたが、衝突後反対車線側へ路外逸脱(転落)した。</p>	軽自動車が一時停止を怠ったため。

7	国道	国道7号線を走行中、対向車線をはみ出して、走行して来る軽自動車と正面衝突した。	相手方対向車線へのはみ出し。
8	県道	慣れないコース周りであったことから、運転席部分に携帯ナビを固定し走行し、また、考え事もしており、交差点が近づいていることを完全に見落として、当社車両が交差点内へ侵入した時には相手方車両が目の前にいたためブレーキを踏んだが間に合わず相手車両と衝突した。	慣れないコースで道路状況を把握しておらず運転に集中していなかった。
9	県道	県道44号線を走行中、長い下り坂が続き、トンネルから覆道へ変わった緩い右カーブで、タイヤがスリップし、左側コンクリート壁に接触し、その反動で車両が右側ガードレールに衝突した。	濡れた路面を約50 km/h でハンドルを切ったためスリップした。
10	その他	みちのく有料道路を走行中、トンネル入口に差しかかった際、トンネル入口付近に横転しているワゴン車を発見した。 衝突を回避しようとブレーキを踏みハンドルを切るが横転車両前方に衝突。対向車が見えたため左車線に避け停車した。	横転車両の発見が遅れ回避出来ず衝突。

③ 転覆

No	路線名	概要	推定原因
1	その他	農面片側1車線を走行中、路面が凍結しており、急な下り坂のためブレーキを踏んだが、ロックがかかり制御不能になった。左右に振られ右ガードレールに右タイヤが乗り上げ左側面を下にして斜面を滑り落ちた。	チェーン未装着
2	国道	片側1車線の国道285号線を走行中、対向車とすれ違う際に左前輪車輪が路肩から逸脱し、のり面を50mくらい走行した後、左側より横転した。	対向車とすれ違う際左側に寄りすぎたため。
3	その他	雨でぬかるんだ砂利道を走行中、左側に寄って走行した為、左前輪が泥にはまりハンドルをとられ横転した。	砂利道が雨でぬかるんでいたにもかかわらず徐行で走行しなかった。

④ 車両故障

No	路線名	概要	推定原因
1	高速	運行途中、PA に休憩の為、立ち寄った。休憩後、運行を再開しようとセルを回したが始動せず、何度か試したが始動できなかった為、修理業者を現地に派遣し、セルモーターを交換修理し運行を再開した。	部品の経年劣化

2	その他	<p>輸送中、エンジンルーム付近から異音が聞こえた為、車両を停車させ確認したが、目視での異常を確認できなかった為運行を再開。着地到着後荷卸しのため下車したところ、エンジンオイル漏れを発見したため車両の移動を要請された。エンジンを再始動したが回転数が上がらず走行不能となった。</p>	<p>経年によるタービンブロー(ターボチャージャー及びインタークーラー破損)</p>
3	その他	<p>配送センター到着後、エンジンを止めて荷卸しの為待機。その後、荷卸し場所へ移動のため、エンジンスタートしようとしたがセルモーターが回らず走行不能。 修理業者を手配し修理完了後運行を再開した。</p>	<p>セルモーター寿命(経年劣化)</p>
4	その他	<p>走行中、エアータンク空気圧異常で警光灯が点灯したため、路肩に停車させ会社、警察、修理会社に連絡。 エアータンク低下異常で走行不能な為、レッカー移動した。</p>	<p>エアドライヤーの詰まりによりエアータンク圧が上がりずミッションの切り替えが出来なくなった。</p>
5	高速	<p>ブレーキの効きが悪くなり主ブレーキ制動異常とブレーキ制御のランプ点灯、その後にアクセルを踏んでも加速しなくなり、ハザードを出し、車両を路肩に寄せて停車。エンジンが停止したためレッカーを手配した。</p>	<p>オルタネーター故障による電力の低下。</p>
6	その他	<p>PA付近を走行中、水温計が上昇し、車両の推進力が低下した為、PAへ緊急避難した。PAにてロードサービスを依頼し、車両修理対応不可の為、レッカー移動となり、運行を中断した。</p>	<p>ウォーターポンプから冷却水を循環させるホースが経年劣化により破損し、冷却水が漏れ出した。</p>
7	高速	<p>走行中、車両前部から水しぶきがミラー越しに確認。水温計を確認したところ、水温上昇を目視したため、ハザードを出し、車両を左路肩(登坂車線)に停車させた。レッカー一車を手配し、移動した。</p>	<p>アドブルーのヒーターパイプが劣化により破損。</p>
8	その他	<p>集荷先にて、後退した際にトランスミッションの異常によりギヤが入らず走行不能となった。</p>	<p>マルチプロテクションバルブが劣化により故障。</p>
9	高速	<p>東北自動車道上り線を走行中、破裂音及び異音が発生したため、左ミラーを確認したところ左後方から煙が出ていたため速やかに路側帯に車両を停車させた。 車両を確認したところ、左後方のタイヤ内側外側2本が外れていたため、警察に通報した。 警察の見解ではバーストによる車輪脱落事故と見解された。けが人はいなかったが、車両から落下したバンパーにより後続を走行する乗用車2台に損害を与えた。</p>	<p>異物(釘、亀裂)によるタイヤ損傷又はタイヤの劣化</p>
10	高速	<p>運転者より車両故障(ブレーキが戻らない事象)の連絡があり、整備管理者が故障内容を聞き取り、ディーラー整備士の派遣を手配。 現地ディーラーが到着し、その場では修理不可と判断し、レッカー移動となった。</p>	<p>ブレーキディスクローターの破損</p>

11	その他	<p>荷降り先敷地内において、荷降り終了後エンジンを始動しようとしたところ、セルモーターがうまく回らず修理業者を現地に派遣。</p> <p>セルモーター交換にて自走可能と判断するが、当該部品の取り寄せに、数日かかる事が判明したため修理工場へレッカー移動した。</p>	セルモーターの故障
12	県道	<p>荷下ろし先で荷下ろし後、IC へ向かう途中、信号停車時に違和感があり、最寄りのコンビニ駐車場へ退避。車両を点検したところ右後後輪外側タイヤのパンクを発見した。運行管理者へ連絡のうえ、ロードサービスを手配し、作業補助によりスペアタイヤへの交換を行い、運行に復帰した。</p>	道路上あるいは荷下ろし敷地内にて、何らかの異物を踏んだと考えられる。

⑤ 車両火災

No	路線名	概要	推定原因
1	高速	<p>八戸自動車道上り線を走行中、エンジンから異音が出たため、直ちに路肩に停車し車両を確認したところ、キャブと荷台の間から炎が上がり炎上した。</p>	エンジンからの出火
2	高速	<p>常磐自動車道上り線を走行中、エンジンチェックランプが点灯しエンジンも停止した為、道路公団へ連絡中に出火。トラクタ、トレーラーとも延焼した。</p>	全体的に潤滑不足が発生したことによるものと判断された。
3	その他	<p>異音が出たため、PA に入り車両を確認したところ、左後の内側タイヤがバーストしており、煙が見え、発火した。トラックと積荷は全焼。</p>	原因究明中
4	国道	<p>走行中、ABS 警光灯が点灯し間もなく助手席側アンダーミラーに赤い煙のようなものが視界に入ったため、左フロントタイヤが火災していると思いトラックを停車させた。</p> <p>瞬く間に火の勢いが強く、消火することも出来ずトラックから離れた。</p>	左前輪部ブレーキの引き摺り
5	高速	<p>北陸自動車道を走行中に後輪から煙のようなものが見えたのでPA(下り)へ入った。</p> <p>車両を確認したところ、ベアリング付近から火が出ていた。他の車両への被害を防ぐため、本線合流地点手前まで車両を移動させ、消防へ連絡をした。</p>	見分の結果、走行中に右後後軸のアウターベアリングが焼付き破損、軸がずれてブレーキが引き摺り状態となり異常過熱で融解したグリースが発火、タイヤ等に延焼したものと推測された。

6	高速	東北自動車道走行中、サイドミラーより右タイヤ付近より火花を確認した為、インター料金所通過後、路肩へ避難したところ、火花を確認及びタイヤより出火。	見分の結果、アウターハブベアリング破損によりブレーキライニングとブレーキドラムのセンターがずれ、ブレーキライニング下部とブレーキドラムに引き摺りが発生し、その摩擦熱により出火したと推定された。
7	国道	国道4号線を走行中、左側後輪付近から衝撃音を確認した。タイヤのパンク又はバーストの疑い有りと判断し、速やかに停車可能な場所に停車した。 左後輪を確認している際、付近から出火を確認したため、消火器を使用し消火活動を試みたが出火がひどく延焼した。	見分の結果、ホイールシリンダー破損によるブレーキの引き摺りと推測された。

⑥ 健康起因

No	路線名	概要	推定原因
1	その他	碎石を工事現場で荷降しをし、2回目の積込みに向かうため市道を走行中、当該運転者は突然意識を失い、左側縁石に接触し、その反動で反対車線に飛び出し、ガードレールに当たった後に右側の約2m下の田んぼに転落横転した。	頭蓋内出血の影響による多臓器不全

⑦ 飲酒

No	路線名	概要	推定原因
1	国道	国道7号線において、信号待ちで停車していた小型トラックに追突した。追突された小型トラックの運転手にケガはなく、事故後、警察が駆け付けたところ運転手から酒の臭いがしたことから飲酒検知を行った結果、呼気からアルコールが検出された。	酒気帯運転による判断の遅れ

⑧ 車輪脱落

No	路線名	概要	推定原因
1	高速	三陸自動車道上り線を走行中、左後側からドンッと音がした為、路肩に停車し車両を確認したところ、左側後後のタイヤが2本外れていた為、直ちに警察への通報と運行管理者へ連絡した。	ホイールナットの緩み
2	県道	県道を走行中、左前部に異音が生じたため、道路左端に停車させ異音付近を目視確認したが、異常は見られなかったため運行を再開した。その後、5km程走行したところ左前タイヤ・ホイールが外れ停止した。	ホイールナットの緩み